



女剣士が**人格排泄**させられて
オナホにされちゃう話

基本CG10枚
総CG枚数195枚です。

すっくすっく
すっくすっく

触手で雁字搦めになるクロア。
彼女の視界の端を
するすると触手が伸びていく……
意図を察してより一層抵抗を激しくする
彼女だったか……

あっ……!!
お、おいっ……
そっちは止めるっ……!
ちよっど……!





おん
おん

おん
おん

おん
おん

おん

くっ……!
んん……
や……
口触手……!
やめ……
♡

おん
おん

おん

おま○こキツく
締めたのに触手自体が
ぬめぬめに触れてゆるって
入つてきてしまった……
お、おのれえ……っ!





ぐう……♡
へ、変なモノを
中に出すんじゃないっ……!

遺跡の調査に来たはずなのに
なぜこんなことになって
しまったんだ……

「んっ」

「んっ」

「ぽっ」

「んっ」

「んっ」

それは遺跡の調査も大分進んできた頃だった……
深部を進むにつれ遺跡の雰囲気が変わり
魔物の気配も薄くなり、まるでなにか宗教施設
じみた様相を呈してきたところに全身を布で
包んだ怪しい一団が現れたのだ。

なんだコイツ等……？
魔物とは雰囲気が違う……

かろ

かろ

依頼の本命は
こいつらか……!!

△△△
|||

アキアキ

くくく……
一人で我々と戦う気か?

///



何でこんな所に人間が……!?
気配も無く急に現れて……
こいつ等魔術師か……?
だとしたら不味い……

くそっ……!
道中の危険度の割りに
報酬がいいのもこれが原因か……!



うっ。。。!?
しまった。。。!
既に魔法を
詠唱されてるっ。。。!?

敵と邂逅した瞬間
魔術師相手に一対多数の不利。
不自然な依頼報酬の多さ。
様々なことが脳裏をよぎるが
それは今考える事ではなかった。

あゝ



ふふふ…時間停止呪文…
一人では発動にも一苦労だが
複数人の魔力を集めれば
一人拘束することなど
造作もないこと…

こうして私は奴らに捕まり
奴らの根城に連れていかれて
しまったわけだ…

M

謎の団に拉致され奴らの
本拠地に連れてこられた私は
そこで奴らの飼う謎の魔物に
こうして辱められていたのだ...

なんて肉付きだ...
この体で剣士は無理だろう

かたわら

むち

た

しける

うう...
うるさう...!
いいから早く拘束を解けっ!

しける

お前はもう
我らが神の供物なのだ

「んんん」

「んんん」

「はるん」

「はるんんん」

おやおや...
まだ自分の立場が
分かってないらしい

「んんん」

おもむろに触手の一本がクロアのクリトリスに吸い付く。突然の快感に彼女の体が大きく跳ねた。

くひっ……!?
やっ……変なところっ!
触るんじやならっ……!

きゅんっ

きゅんっ
きゅんっ
きゅんっ

次にクリトリスに吸い付いた
触手の先が激しく動き始めた。
まるで彼女を愛撫し快感を
引き出すかのように……

んっ

あっ

んっ
んっ
んっ

んっ

んっ

んっ
んっ
んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ
んっ
んっ

うあああああっ……♡
ひあっ……♡
くう……やめろっ♡
そっそこは敏感なんだっ……♡

んっ





くっ♡
はあ♡
はひ♡

はっ♡

♡♡

ふふふ…
盛大にイっただなあ？

こ、こんな
下等生物に…♡

我らが神も
お前の事が
気に入った
みたいだぞ？

♡♡

ぬちゅわ

ふふふ…
迷宮の奥でこんな快感に
ありつけるなど中々ないぞ

くっ…
黙れっ…
お前ら後で全員
ぶっ殺してやるっ…!

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

その威勢のよさ
どこまでもつか楽しみだ

むた

じゅわ

ん

じゅわ

今度は何だ……？
どんな事をしよう
私は屈しないぞ……！

ん

ん

むた



男たちはクロアの乳房に手を当て詠唱を始めた。怪しい動きに警戒をするも触手に拘束された状態では彼女に為す術は無かった。

ドクドク

ドクドク

ハッ

ホ...

。。。っ!?
おっぱいが。。。熱いっ。。。!?
おい。。。何をっ。。。!

ホ...

うわっ

うわっ



おいっ!!
おっ。。。おっぱらがっ。。。!!

おっぱら!!

おっぱら!!

ふふふ。。。
大ききだけじゃないぞ。。。

おっぱら!!



男たちが唱えたのは乳房が
肥大化する呪文だった。
それを見計らうかのように彼女の
膣に深々と突き刺さった触手も
暴れ出す。

あ
ほんんん
んんん

ほんん

あ
んんん

あ
んんん

んん

あ
んんん

あ
んんん

ひあつ……
あぐつ……あつあつ
ま、またつ……



あぐ……はあ……
はあ……はあ……
あえ……?
おっ……おっぱら
出ちやってる……

もあ……

は……

あ……

は……

ううう……
わ、私の体が
改造されて……

く……肥大化しただけ
ではなく母乳も
出るようになったのだ

……

ぬ……

あ……

だがまだ物足りないようだな
我が神は……

なへ……何が……?

せろ

ん

ん

ん



カチカチ

カチカチ

カチカチ

カチカチ

カチカチ





どうだ？
二穴同時に射精される気分は
またイッてしまったんじゃないのか？

ふっ……ふんっ……
この程度じゃ……♡♡♡

ぬんっ

とろっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ



はははっ！
我が神は全て
お見通しだそう
下らん痩せ我慢
はやめて
快楽に身を委ねよ……

さて、そろそろ準備が出来たころだな……

はーっ
はーっ

んんん
んんん

じゅ、準備だとおろ?

何の準備だ!?

ただ単に私の体を下等生物に

辱めさせていたただけじゃないか……!

こっ……これ以上まだ何か
あるというのか……っ？
そもそもコイツ等の目的はなんだ？



くそっ……分からない事
だらけだ……
兎に角この状況を何とかしないと……!!

ふふふ……それでは
取り出すとしよう……
『お前自身』を……

やっ……!?
な、何これ……っ!?
体の中が光って……
何の呪文だった!?

~~お~~

おああっ!?
なっ。。。おおっ。。。
お尻からっ。。。
何か出てっ。。。!?

男が呪文を唱えるとクロアの
尻の穴からスライム状の物体が
ぬるりと這い出てきた。
思わぬ感触に身を慄かせる。



どろろ

どろろ
びしょ
どろろ

これはお前の
自我をスライムに
閉じ込める呪文だ……

じっ……自我をつ……!?

さっきまで我が神が
注いだ体液はお前の精神を
肉体から分離させたのだ
効果があつたのだ

そっ……
そんな……!

がっ

がっ

がっ

がっ

がっ

がっ

がっ

がっ



くくく…!!
これでお前の肉体はもう
ただの道具だ…!!

…

んんん

んんん

ぽかり

…!!?
わっ…私は一体…
どうなってしまったんだ…!!?

しん

クロアの眼前に奇妙な
光景が広がっていた。
己がいつも姿見でよく見る
自身の姿を見下ろして見たからだ。

くたあし

あし

あし

ふふふ…
信じられんのも
無理はないか…



だが、目の前にあるのは
紛れもなくお前の体だ...
そしてそれを見下ろすお前は
そこから抜け出た人格だけの
存在だ

〇〇〇

あ、ああ...
こんなことが...

ぱる

ぱる

ズ、ズ、ズ...



あつ...!?
な、何を...!!

肉体だけとなつたお前は
意志を持たぬ肉塊...

わん

しん

しん

つまり正真正銘
の性処理玩具と
なつたわけだ

ひくひく

ひくひく

やめるおっ……！
私の体を辱めるなあっ！

どろどろ

ぬ
ぱ
ぱ
ぱ
ぱ

くお……く……
中々締めまりのいら
だな……っ！

ふははっ!
我らの神が夢中で食るのも
分かるぞっ!

ぽん

ぽん

ぬっぱ

ぱ

やめっ...
やめろおっ!

ぽん

ちかちか

ちかちか

ち○ぽに吸い付いて
離れん...お前は優秀な
オナホになれるぞっ!

ふう……気持ち良かったぞ……
体の方は我々がこれからたっぷり
使つてやるから安心しろ……

あ、ああ……
嫌、ああ……!
わ、私の体……!

肉体の方も生きてるから
その内孕んでしまふかも
ふしははは！

ずるん
ぽぽぽ
しゅん

自分の体は無抵抗で蹂躪され
失意のどん底にいたクロアだったが
彼女の人格が押し込められた
ゼリーの方にも奴らの魔手は伸びるのだった。

ひな、何だこの姿は……!!?
ひな、人型に……!!?

とた

とた

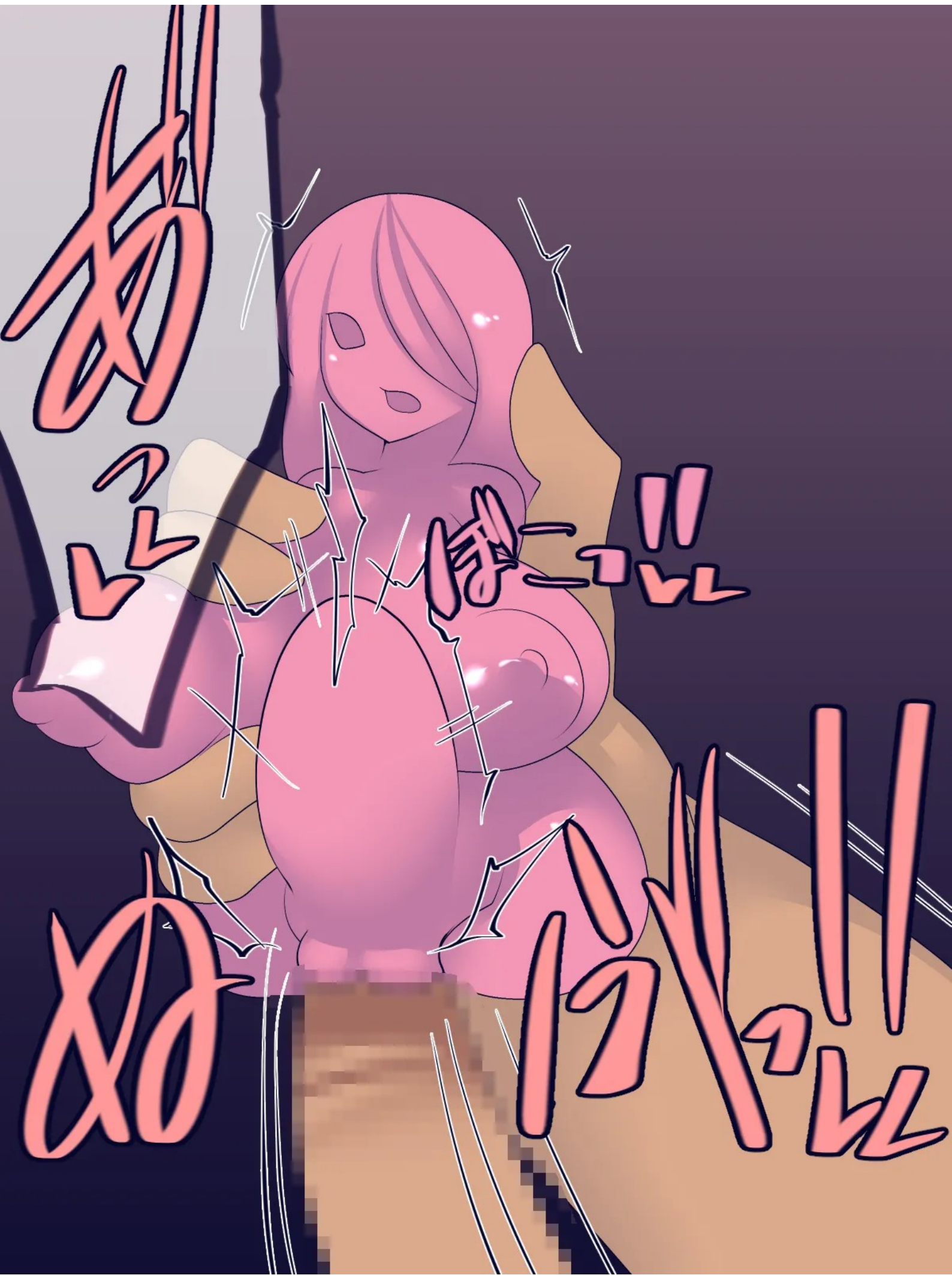
くくくく……
ただの塊では可哀そうだと
思ったのでなあ
肉体の方の姿に寄せてみたぞ

まあ、勿論。。。
それも意味があるのだが。。。

。。。っ!!?
な、なんだ。。。熱いのが
体に押し当てられて。。。
こ、この感触は。。。!!?

ぬ
ッ
ッ

ッ
ッ



おあっ♡おっ♡おっ♡
なっ……なっ……
してっ……♡♡♡♡♡

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

おおっ……!
こっちの方も中々の
使い心地……!

肉体以上に穴が狭くて
それでいてゼリーの伸縮性で
むっちり包み込んで
気持ち良いぞっ!



かんぶお。。。おぐっ。。。
か、体はゼリーにされたのにつ。。。
ちや、ちやんと感覚が残ってる。。。
♡♡

むあ
っ
っ

で
で

び
び

ふー。。。
ゼリーオナホの方も
中々良い出来ではないか。。。
まるでオナホになる為にな
産まれてきたような女だな

肉体と人格により分けられてからも
男たちの執拗な責めは続く。
二つに分けられたことで、快楽と屈辱は
二倍になり、クロアの限界は確実に近づいていた。

も、もう止めるお……
こ、これ以上は……

私の心が……
壊れる……



元に戻して……
戻してくれっ……
うわあっ!?

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

そんな……?
そんなに元に戻して欲しいのか?
じゃあ戻るといい
自分の体の中にな……



男の一人がおもむるに
オナホのクローアを肉体の方のおま○こに
突っ込んだ。頭から捻じ込みその上からち○ぽを

ぬり

んなっ...!?
なんてことを
するんだお前っ...
おほおっ♡♡♡

ぬり

ちゅ

むう...
これは中々...



ふふふ…どうだ？
念願の自分の体の中は？
こちらも具合がいいぞっ！
オナホの分だけ狭くなって
極上の締め付けだっ！

のびのび

のびのび

のびのび

からめっ…
かはっ…
しゅごっ…
あつ頭っ…
こわれりゅっ…

のびのび

のびのび



はー。。。はー。。。！
ふははっ！
最早オナホか避妊具か
分らん有様だな！

それ気持ちよさそうだな
次は俺にやらせてくれ。。。

あが。。。あ。。。あ。。。あ。。。
ぎ。。。ぎ。。。ち。。。ち。。。
ぜんしん。。。おま○こに
なつたみたい。。。
♡♡♡♡♡

あ。。。あ。。。

それから数日……
クロアは身心共に弄ばれ、肉体の方は
驚異的な速度で誰のモノとも分からぬ
種を孕んだ。
これも我らの神のご加護だと
宣う男達の声には届かなかった。
最早彼女の耳には届かなかった。

ぼて
て



おひっ。。。おっ♡
おち○ぽおっ♡
もっとなぐっ♡

おっ♡

おっ♡

おっ♡

くおっ。。。おっ。。。!
ま、また出るぞっ。。。!

おっ♡





放心状態のクロアの頭上に
触手が伸び彼女を取り込んでいく……
精神力を徹底的に消耗され体の自由を
奪われた彼女に為す術は無かった……

にやろし

にやろし

にやろし

にやろし

にやろし

度重なる依頼の失敗を重く見た
ギルドは国に歎願し、討伐隊を派兵する。
そこで兵士たちは、洞窟の中に
人工的な空間を発見、魂を抜かれた
女性冒険者達を発見したという。
それ以外には痕跡も無く事件は迷宮入り。
唯一現場には神頭現級の魔力濃度が
検知されたという……

終わり



クロア

男勝りな女剣士。
剣の腕は確かなのだが
体は敏感なのが弱点。
とある迷宮の調査を依頼され
一人現地に赴くのだが...



